

愛知県感染症情報

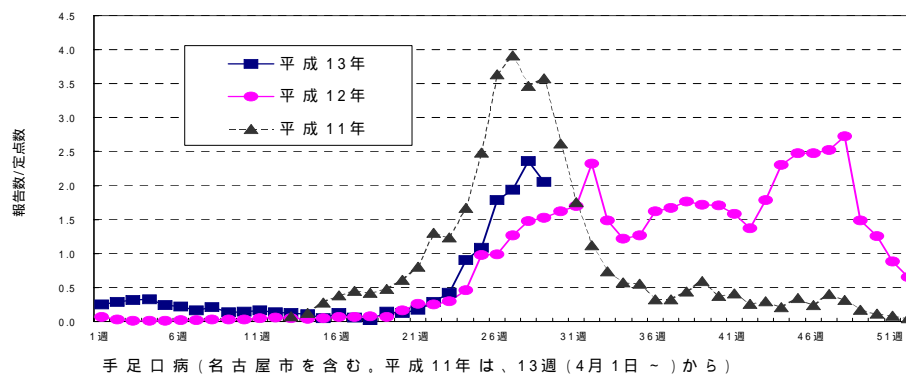
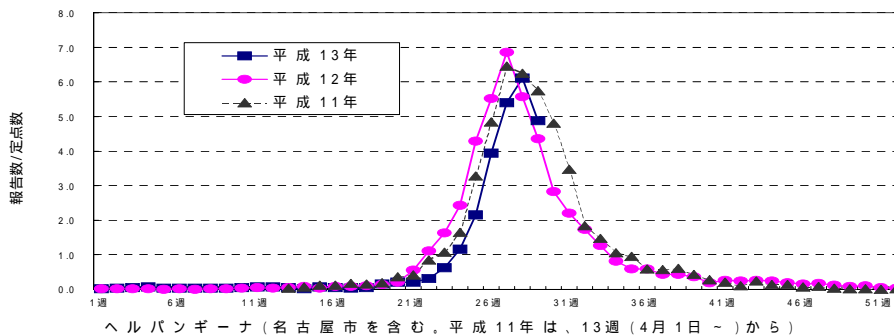
平成 13 年第 29 週（7 月第 3 週）

（コメント）

ヘルパンギーナ、手足口病はピークをむかえているので注意してください。咽頭結膜熱の定点・週あたりの報告数は、0.33（1,735 人/182 定点×29 週）で、昨年（631 人/182 定点×52 週）の約 4.7 倍になっています。流行性耳下腺炎は昨年より多い状況が続いています。

全国状況（第 27 週）にもあるように麻疹の報告数が多いです。

愛知県における最近の麻疹の流行状況については、（<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>）をご覧ください。



（定点の先生方からのコメント）

● 尾張西部地区

- ・ 手足口病多いです。生後 1 ヶ月の百日咳あり。
（一宮市 あさのこどもクリニック）
- ・ ヘルパンギーナとヘルペス性歯肉口内炎併発 1 例
咽頭結膜熱と伝染性紅斑併発 1 例
手足口病流行中。
（一宮市 後藤小児科医院）

- ・ 手足口病が多い様です。
(小牧市 鈴木小児科)
- 西三河地区
 - ・ カンピロバクター 11歳女
(豊田市 やふそ小児科)
 - ・ 病原性大腸菌 O6 1歳男
(豊田市 星ヶ丘田中こどもクリニック)
 - ・ 感染性胃腸炎の 11ヶ月女ロタウイルス(+)、腸炎ビブリオ 9歳男。マイコプラズマ感染多し。
(岡崎市 小児科延寿堂杉浦医院)
 - ・ ロタウイルス(+) 3歳男
(岡崎市 医療法人深田小児科)
 - ・ 病原性大腸菌 O86a 4歳男
(岡崎市 花田こどもクリニック)
 - ・ 病原性大腸菌 O6 VT1・2(-) 2歳男
(岡崎市 にいのみ小児科)
 - ・ 病原性大腸菌 O18とカンピロバクター 10歳女
(岡崎市 医療法人川島小児科水野医院)
 - ・ ヘルパンギーナ増加傾向
(碧南市 永井小児クリニック)
 - ・ 咽頭結膜熱は減少し、ヘルパンギーナは増加。
(西尾市 やすい小児科)
 - ・ サルモネラ胃腸炎 1名
(豊川市 ささき小児科)

(1~3類感染症の発生状況)

腸管出血性大腸菌感染症患者 3名

- ・ 瀬戸保健所から報告の 3歳男。7/11発病、7/14初診、7/18診定。
菌型は、O157 VT1・2(+)
- ・ 安城保健所から報告の 4歳女。7/16発病、7/17初診、7/19診定。
菌型は、O157。
- ・ 新城保健所から報告の 2歳男。7/6発病、7/13初診、7/19診定。
菌型は、O26 VT1(+)

腸管出血性大腸菌保有者 2 名

- ・ 瀬戸保健所から報告の 49 歳女。7/21 初診、7/21 診定。菌型は、0157 VT1・2(+)。
- ・ 新城保健所から報告の 8 歳男。7/20 初診、7/22 診定。菌型は、026 VT1(+)。

(全数把握の 4 類感染症の発生状況)
報告はありません。

◆ 病原体検出情報

病原体検査定点から搬入された手足口病の患者さんからコクサッキー A16 型ウイルスが分離されております(4/9 人)。昨年流行したエンテロウイルス 71 型は今のところ分離されていません。

第 27 週(7 月 2 日～7 月 8 日)の 4 類感染症の全国状況

流行性耳下腺炎は、最近 10 年間の同時期と比較して最大の定点当たり報告数が続いており、都道府県別では石川県 6.2、福井県 4.8、佐賀県 4.3 などの報告がある。流行性角結膜炎の定点当たり報告数は、最近 5 年間の同時期と比較してかなり多くなっており、都道府県別では福井県 6.0、茨城県 4.3、長崎県 3.9 などの報告がある。咽頭結膜熱は、最近 10 年間の同時期と比較して最大の定点当たり報告数が 2000 年第 41 週から続いており、夏の本格的なシーズンに向けて増加中である。麻疹、ヘルパンギーナ、伝染性紅斑などの定点当たり報告数は、最近 5 年間の同時期と比較してやや多くなっている。

(Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋)

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)